

金田 倍視議員

## 防犯灯の設置について

**議員** 県道金井小幡線は、金井駐在所から新屋小学校の信号までの間に防犯灯がありません。

新屋小学校校舎東側に防犯灯の設置はありますが、照明は県道までは届きません。ましてや街路樹に葉のある季節において、この間の県道は非常に暗く足

元が見えない状態です。

県道のこの付近は、未明かつ夜間も自転車通学の学生、散歩者をはじめ多くの人が通行しています。事件、事故防止の観点から早急に設置が必要かと思慮されますが、町の考えをお聞かせください。

**町長** 防犯灯の設置については、毎年、区長さんを通して設置要望の調査を実施しています。申請が出されれば、職員が場所を確認・精査して、議会議決された予算の範囲内で毎年20〜30基程度を設置しており、現在、町内には1300基程の防犯灯があります。立地条件等の都合により、少し待っていた



だく場合や、ご要望に応えられない場合もありますが、ご質問の場所については、現況確認を行いましたので、地元区長さんと相談して、要望調書を提出していただきたくお願い申し上げます。また、新年度から全防犯灯をLED化し、電気料の削減、二酸化炭素排出量の削減に努めていきます。

富岡 朝男議員

## 甘楽総合公園内施設の活用について

**議員** 都市公園として設置された「甘楽総合公園」は30数年が経過し、高齢者から子どもまで多くの利用者に親しまれていて大変好ましいと思います。しかし、設置当初から変更が行われずに時代にそぐわない施設があります。利用者により愛される公園になるよう

質問します。

- ①多目的広場内のゲートボールコートは幼児向けの施設に活用変更できないか。
- ②野外ステージは高学年用の施設として活用変更できないか。
- ③公園最南端（雄川左岸）にある駐車場付近にトイレの設置と周辺の施設の活用方法を考えてはどうか。
- ④公園内道路にウォーキングコースの設置を。また、距離の目安となるものの設置をしたらどうか。

**町長** ①②社会情勢の変化に伴い、再整備を検討すべき時期に来ていると考えています。昨年、実施した総合戦略策定アンケート等でも、子育て世代を中心に公園に関する要望が多く寄せられており、甘楽総合公園や各地域の既存公園等を再点検し、住民の皆様の

ニーズに対応した利用目的への転換や改修等をご提案いただいた変更案も含め計画的に行っていきます。

- ③公園区域内のトイレの配置は適正と考えますが、新寺町谷橋から下流左岸の利用増進の為の検討を行います。
- ④施設案内板に区域を分けての表示や園路に距離表示板等を設置して整備を行います。



甘楽町議会だより(5)

**議員** 運転技能が衰えた高齢者の事故抑止には、運転免許証の自主返納もひとつの方法ではないでしょうか。これから団塊の世代が高齢者の中心となる時期がやってくるので、更なる自主返納を促す施策が必要ではないでしょうか。高齢者が返納しても困らないような町になる必要があると思います。

## 富岡 朝男議員

# 高齢者の運転免許証の自主返納について

1. 町における平成27年中の交通事故と自主返納について
- ① 65歳以上の事故件数とその割合。
- ② 自主返納者数と近隣市町村との比較。
2. 運転免許証自主返納の推進について
- ③ シニアカー、電動アシスト自転車等の購入支援補助金制度の導入はどうか。
- ④ デマンドタクシー「愛のりくん」の利用の拡大はどうか。例えば、近隣市町への通院、所要等の利用。

**町長** ①全体で192件。65歳以上の人が起こした事故が60件、割合は31・2%。

②昨年4月から本年2月までの間、富岡市64件、下仁田町11件、南牧村0件。当町は、本年1月1日の事業開始から一月余りで6名が自主返納しています。

③当面は事業の周知と促進を図り、高齢者福祉等を含め、今後検討していきたいと考えます。

④町内移動の利便性を図るために運行する「愛のりくん」については、町地域公共交通会議で検討し、富岡市にある2つの病院を特別に運行範囲に加えた経緯があり、運送事業者等の合意を得てようやく現在の運行形態に至っています。町としては、公共交通会議の意思決定を尊重した運行範囲で対応したいと考えます。



## 中野 喜久勇議員

# 町民を優先とするバランスのとれた行政について

**議員** 町長は、一期当選時、町内各地域で町政懇談会を開き、町民の意見を反映させたが、昨今、観光事業や国際交流に力が入り、地域の要望に対する対応が疎かになっていく。昨年の議会で町道整備3件について質問したが、すべて10年以上も手付かずの状態のものでした。私の質問

の後、実施されましたが、今後は速やかに町民の要望に応えるよう願います。

昨年、文化協会の加入団体に対する公民館等の使用料を10年前と同様無料にし、文化会館大ホールの使用料を2分の1にする質問に対し、富岡市は選挙公約で無料化したのであり甘楽町は無投票当選だから無料化しないと

いうニュアンスの答弁でしたが、再考願いたい。

公民館使用料の無料化、文化会館大ホール使用料の2分の1の減免についてのご質問ですが、公民館活動全般にわたり意見を伺う公民館運営審議会があります。審議会は使用料を決定する機関ではありませんが、今までの町の経緯等を説明し、皆さんのご意見を伺います。そして、その意見を十分尊重し検討しますので、暫くの猶予をいただきたいと思います。

**町長** 地域の要望に対する対応が疎かになつてきているという指摘ですが、地域の代表者である区長の皆さんとは、毎月開催される区長会で様々な意見を伺っており、今後も継続し、これからも様々なご意見等に真摯に耳を傾けていきたいと考えています。



中野 喜久勇議員

# 文化協会加入団体に対する助成金について

**議員** 甘楽町文化協会加入団体は10年前には70団体で構成されていましたが、現在は51団体に減少してしまいました。原因は高齢化による会員の減少や、若い人たちの入会が少ないこと、また入会してもメリットが無いこと等で今後ますます減少傾向にあります。

文化の向上のためには文化活動のすそ野を広げ多くの人に気軽に参加していただき、活動の場や機会を広げることが必要です。甘楽町の文化を支える文化協会の活動を少しでも向上させ維持するためには町の助力が必要であり、各団体に助成金を交付して欲しいと思いますが、町の考えを伺います。

**町長** 町では、文化協会に補助金または委託料を交付していません。近隣の下仁田町や南牧村でも、額の違いはありますが、同様に文化協会に補助金等を交付しています。しかし、文化協会の加入各団体に助成金を交付しているところはありません。

文化の向上のためには文化活動のすそ野を広げ多くの人に気軽に参加していただき、活動の場や機会を広げることが必要です。甘楽町の文化を支える文化協会の活動を少しでも向上させ維持するためには町の助力が必要であり、各団体に助成金を交付して欲しいと思いますが、町の考えを伺います。



山田 邦彦議員

# グルメサイクリングの実施を

いものをいただきながら行う「グルメサイクリング」(35都道府県、80か所以上で行っている)には人気が集まっているようです。

一組に複数の地元ガイドが付き、自転車は貸し出しを基本に、持ち込んでいただいてもOKというスタイルがいいのではないかと思います。

実施してはいかがでしょうか。町の考え方を伺います。

山園等に立ち寄った際に、ボランティアの皆さんが案内をしています。貸し出しできる自転車も、福島駅に8台、甘楽ふるさと館に10台あります。

今後、町単独ではなく広域的な事業として展開し、コース設定の工夫なども行う中で、自転車観光の推進を継続していきたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

**議員** 「健康増進」「エコ」徒歩では大変」等々の理由で、自転車観光などを回るスタイルが注目されています。

**町長** 町では、西上州観光連盟の事業として「上信電鉄サイクルトレインで行く西上州サイクリングマップ」を作成し、ご案内しています。マップには、西上州や甘楽町の名所旧跡、食の素晴らしさを掲載し、情報発信をしています。

甘楽町にいくつかのコースを作り、回っていただくことも可能だと思いますが、いかがでしょうか。特に、地域のおいし



**議員** 私たちは、思想や宗教、性、年齢、怪我、病氣、被爆等で、一切の差別をしない社会を目指しています。世界にはまだ色々な差別が残っています。残念ながら、それを理由に紛争にまでなることもあります。

そんな中、LGBTの人へのきちんとした理解の無さ等で、色々な理不尽な扱いを受けているようです。この頃、いくつかの自治体では「男女の別を越えて多様な個人を尊重しあう社会の実現」を目指した条例を制定しています。町でも、是非、実現をと思いますが、いかがでしょうか。

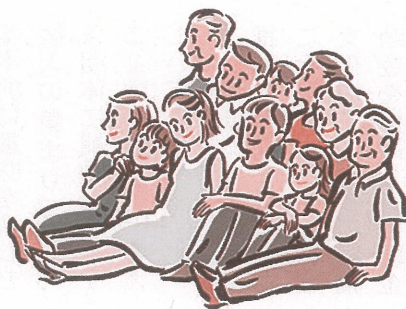
※LGBTとは、同性愛者、両性愛者、性同一性障害を含む性別越境者の人々を意味する頭字語である。(関係HPより)

山田 邦彦議員

## LGBTの人を差別しない条例制定を

**町長** ご提案の条例は、性的少数者への偏見や差別の解消を訴え、性的少数者が個人として尊重され、多様な生き方を選択できることを求めている内容であることは理解できます。しかし、こうした動きは、人口密度の多い大都市圏で始まり、地方の自治体が多岐にわたる性カテゴリーを承認する

制度が広がるかはもう少し推移を見る必要があると考えます。性別や人種、障がいの有無等で差別があつてはならず、そういう社会を実現することは人類共通の願いであり、現在、学校教育、生涯学習等の教育の場において、人権尊重の取組みが行われており、現時点では、条例制定の考えはありません。



中里 芳久議員

## 町長選への準備と決意について

**議員** 前回、平成27年第4回定例会で次期町長選への出馬について質問した際は、はっきりとした答えは無く、後援会や支持者等と相談をして方向を決めていきたいとの答弁でしたが、その後、相談された結果と決意の報告をお願いしたいと思えます。

**町長** 前回、お答えさせていただいたとおり、後援会やご支援をいただいた皆様のご意見を伺ってまいりました。そして、多くの支援をいただいた人達に、がんばれとの力強い励ましの声をいただき、この力を受けて、皆さんと共に地方創生に頑張っていくことを決意しました。

今年度は、地方創生の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定でき、計画にある4つの柱「元気にぎわいを生む町」そして、「住みたい・住み続けたい町」「子育て支援」「安全安心と個性あふれる町」を目指して力の限り、誠心誠意、町政の推進にあたる覚悟です。

多くの皆さんにご支援をお願い申し上げ、再度立候補することを表明し答弁とします。

